

平成26年  
10月26日執行

# 妙高市長選挙公報

妙高市選挙会  
管理委員会

新潟県住みよさランキング 第1位!  
今! 市政の流れを止められません!

## 生命地域 創造へ

”妙高の挑戦” にあなたの力を!

お約束する ”私の政策”

- ① 人口減少対策の充実・強化
- ② 新幹線・国立公園を活かした  
交流人口の拡大
- ③ 総合健康都市 妙高の推進
- ④ 地域協働のまちづくりの推進
- ⑤ 未来を支える地域基盤の整備

市民と  
ともに

市民の皆様の声に耳を傾け、市民や地域とともに次世代につなげる妙高を創り上げます!

自然と  
ともに

大自然を活用した交流や健康などの施策の充実に取り組みとともに、安全・安心な妙高を創り上げます!

妙高と  
ともに

北陸新幹線開業や国立公園の分離独立などを契機とした新たな妙高づくりに挑戦します!



いしむら  
あきら  
入村あきら

昭和二十二年 妙高市小出雲に生まれる  
昭和四五年 駒澤大学経済学部卒業  
平成一七年 妙高市長就任 現在に至る  
新潟県市長会副会長  
新潟県特別豪雪地帯市町村協議会会長  
新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会会長  
新潟県治水砂防協会副会長  
新潟県スキー観光産業振興協議会副会長 他



たいら  
だいじろう  
平大次郎

早稲田大学政治経済学部卒業  
新潟県観光施設株式会社  
代表取締役社長(池の平温泉スキー場等運営)  
1977年6月15日生(37歳)

「妙高の未来のために、今、変えることに協力をしてください。」  
地方の多くは、危機的状況にあり、妙高市もその例に漏れません。

財政、人口、企業収益の悪化、固定資産の老朽化、客観的に見て、今のままでは、絶望的と言わざるを得ません。これらが起こることは、20年以上前から予測されていたにも関わらず、危機感もなまかまに対策がなされて来ませんでした。

妙高市誕生から10年。何が変わったのでしょうか?  
そして、今も尚、次の10年を見据えた改革ビジョンはなく、これから変わる希望はないと言わざるを得ません。また、一般論としてもチェック機能の働いていない長過ぎる政権は、取り返しのつかない非効率や不正の温存等を生む可能性が高いと言えてしまう。それどころか、現市政のコンセプト「生命地域」のキャッチコピーは、「50年後、100年後も今の生活が続けられると思いますか?」というものです。これが、暗に示しているものは、将来への絶望。そして、それを解決する当事者意識をもっていないということです。もっとうつなば、地域の将来に関心がないのではないのでしょうか。

市政の役割は、「地域を今よりもよい未来にする。」ということだと思います。そのためにも、今から大胆に変わる必要があります。

但し、変わるということが、画期的なイノベーションを意味しているわけではありません。より広い常識に照らしてより効果が高いものより公正なものを選択する「あたりまえ」の決断を続けなければいけません。われわれは、妙高を本場の意味で改革し、妙高を地方の星として、多くの地方に強い良い影響を与える存在にしたいと思っています。

### 重要政策課題

#### ● 経済成長の実現

「行政サービスと市民生活向上のために、経済成長は、唯一の処方箋です。」「地域をのこす」から「地域を育て成長させる」未来ある市民として希望を育てる地域に!

#### ● 日本一のみえる化改革

「説明責任を果たすことができる日本一透明度の高い意思決定機構を実現します。」  
この事業は何のため? 誰がいつ望んだの? もっといい方法はないの? 知りたくありませんか?

#### ● やりがいのある職員改革

「見守る行政から、やりがいがあり付加価値を生む行政に変革します。」専門性を持ち、自ら汗をかき、市民の問題を真に解決できる市役所をつくりたい。

○投票日

10月26日(日曜日)

○投票時間

午前7時から午後8時まで

ただし、一部の地域では次のとおり投票所閉鎖時刻が異なりますのでご注意ください。

- 新井地域…矢代及び南部地区の各投票所は午後7時までです。
- 妙高地域…樽本及び斑尾地区の各投票所は午後6時まで、その他の投票所については午後7時までです。
- 妙高高原地域…全投票所、午後7時までです。

※この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により、縮小して印刷したものです。